

未来を担う子どもたちの夢と希望をはぐくむ

新宿区教育ビジョン

&

令和3年度 主要事業

新宿区教育委員会は、平成30年2月、これまでの教育ビジョンをもとに築いてきた取組をより確実なものにするとともに、子どもたちが生涯を切り拓いていく力を一層伸ばしていくため、10年後の子どもたちの育ち・学びを見据えた「新宿区教育ビジョン」を策定しました。

このリーフレットでは、教育ビジョンの概要と、令和3年度に取り組む事業の一部を紹介しています。

学校・家庭・地域が連携・協働し、新宿の子どもたちを社会全体で育てていくことができるよう、保護者の皆様、区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



教育目標

新宿区教育委員会は

- 広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人
- 地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人
- 個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人

を育てる教育を推進します。

新宿区教育ビジョンの構成

- ◆3つの柱と10の施策 ……「教育目標」を達成するため、平成30(2018)年度から令和9(2027)年度までの10年間の新宿区の目指す教育として示すものです。
- ◆75の個別事業 ……………教育ビジョンに示した施策の具体的な取組として、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までの3年間の事業を示すものです。

新宿区教育大綱について

平成27年11月、新宿区では、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や根本的な方針を定める「新宿区教育大綱」を策定しました。

この大綱は、教育ビジョンに基づき教育委員会が実施している具体的な取組や課題のほか、区の子育て支援施策等について、区長と教育委員会が「新宿区総合教育会議」において十分な意見交換と議論を行い、区長が策定したものです。

大綱は、教育ビジョンの3つの柱に「子どもの育ち・学び・自立を地域とともに支えるまちの実現」の柱を加えた4つの柱から構成されています。

新宿区教育大綱の4つの柱

- I 子どもの育ち・学び・自立を地域とともに支えるまちの実現
- II 子ども一人ひとりの『生きる力』をはぐくむ質の高い学校教育の実現
- III 新宿のまちに学び、家庭や地域とともにすすめる教育の実現
- IV 時代の変化に対応した、子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現

新宿区教育ビジョン 施策体系

3つの柱

10の施策

取組の方向性

柱1

子ども一人ひとりの「生きる力」をはぐくむ質の高い学校教育の実現

① 確かな学力の向上

子ども一人ひとりの学びの保証
変化の激しい時代を生きる力の育成

② 豊かな心と健やかな体づくり

豊かな人間性と社会性を育む教育の充実
基礎体力の向上と健康な体づくり
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育の推進

③ 就学前から中学校までのつながりのある教育の推進

幼児教育環境の充実
幼稚園・保育園・子ども園の連携の推進
就学前教育と小学校教育との連携
小中連携教育の推進

柱2

新宿のまちに学び、家庭や地域とともにすすめる教育の実現

④ 地域との連携・協働による教育の推進

地域が参画する学校運営の充実
新宿の多様な社会的資源を活かした教育活動

⑤ 家庭の教育力の向上支援

家庭の教育力向上のための支援の充実
家庭教育を担う保護者同士の学びの支援

⑥ 生涯の学びを支える図書館の充実

区民にやさしい知の拠点をめざした図書館の充実
子ども読書活動の推進

⑦ 子どもの安全の推進

安全教育の充実
地域ぐるみの学校安全・学校防災対策の推進

柱3

時代の変化に対応した、子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現

⑧ 一人ひとりの子どもが豊かに学べる教育環境の整備

いじめ等の防止と不登校児童・生徒への支援
特別支援教育の推進
外国籍等の子どもへの日本語サポート体制の充実
外国籍や障害のある子どもたちから学び合える交流
家庭環境にかかわらず豊かに学べる教育環境の整備

⑨ 学校の教育力の強化

教育の質を高める学校運営
教職員の勤務環境の改善等
教職員の資質・能力の向上

⑩ 学校環境の整備・充実

新しい教育課題に対応した魅力ある学校環境の整備
将来を見据えた学校規模適正化と施設整備等の推進

子ども一人ひとりの「生きる力」をはぐくむ 質の高い学校教育の実現

施策 ① 確かな学力の向上

子ども一人ひとりの課題に丁寧に対応するとともに、長所や強みを活かすという視点に立ち、すべての子どもの能力を最大限に伸ばす教育を実現していきます。また、グローバルな視野を持ち、時代の変化を見き

わめながら自らの将来を切り拓いていく力を育みます。

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、学校ではあらゆる教育・学習機会を捉えて、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指します。

ICTを活用した教育の充実 拡充

新宿区版GIGAスクール構想により再構築したICT環境をより一層有効活用し、子どもたちが将来の社会で生きていくために必要な資質・能力を育みます。各校の優れた教材の共有を推進するとともに、プログラミング教育やデジタル教材を活用した教育活動を支援します。



施策 ② 豊かな心と健やかな体づくり

豊かな人間性と社会性を育み、子ども一人ひとりが、かけがえない自己を肯定的に捉えるとともに、命や平和の大切さを理解し、他者に対する思いやりや感謝の気持ちを言葉にして素直に伝えようとする心を養います。

運動やスポーツに親しむ習慣や意欲・能力を育成し、体力向上を図ります。また、子どもたちの心身のバランスのよい発達のため、家庭と連携し、健康的な生活習慣の形成を図ります。



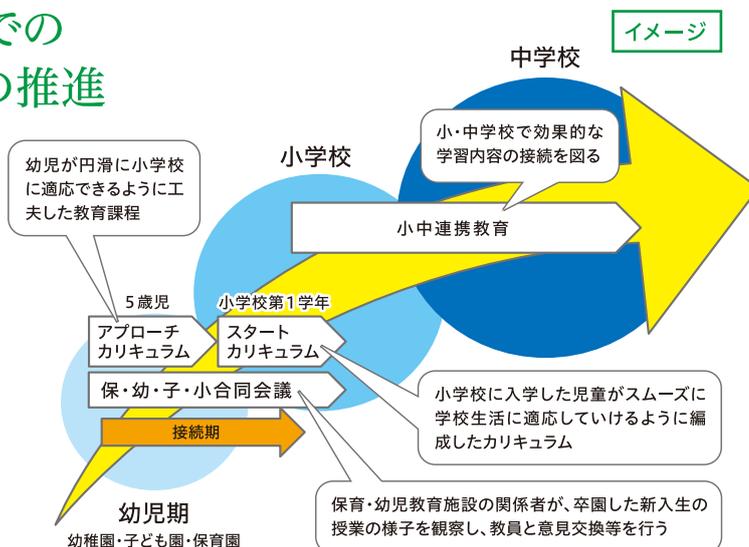
豊かな人間性と社会性を育む 教育の充実

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、国際社会や異文化への理解、自国の伝統文化に対する理解を通してグローバル社会を担う子どもたちの国際感覚を養います。また、障害者に対する理解と他者への思いやりの心を育む障害者理解教育を推進します。

- 国際理解教育及び英語教育の推進
(英語キャンプの実施)
- 伝統文化・芸術等を学ぶ機会の充実
- 障害者理解教育の推進

施策 ③ 就学前から中学校までの つながりのある教育の推進

幼児教育・保育と小学校教育、中学校教育の滑らかな接続のため、学校種別の異なる教職員が相互に交流する機会を設け、教育の連続性についての共通理解を深めます。また、接続期の指導・支援の継続性を重視したカリキュラムや、小・中学校の連携した教育により、効果的・効率的な学習内容の接続を図ります。



新宿のまちに学び、家庭や地域とともに すすめる教育の実現

施策 4 地域との連携・協働による教育の推進

地域協働学校に
ついてはこちら ▶



学校と地域が連携・協働して地域協働学校の取組をさらに推進し、開かれた学校づくりを進めていきます。地域との連携を推進し、地域ぐるみで子どもの一貫した成長を支えるとともに、互いの顔が見える関係を強化することで、今後の地域社会を担う人材の育成へとつなげます。



地域協働学校の充実 拡充

●学校運営協議会と地域との連絡会の実施

これまで学校運営協議会に参加する機会のなかった地域の団体やNPO、企業、大学等へ参加を呼び掛けて連絡会を開催し、多様な人材の参画を図ります。また、人材確保や周知活動等に取り組むことで、地域が一体となって子どもたちを育む環境づくりを推進します。

実施地区:1地区→5地区

●小中連携型地域協働学校の実施

小・中学校の9年間を通して、地域ぐるみで子どもの一貫した成長を支え、今後の地域社会を担う人材の育成へとつなげるため、近隣の小・中学校の学校運営協議会が連携を図ります。実施地区:1地区→2地区

施策 5 家庭の教育力の向上支援

各取組に
ついてはこちら ▶



子どもの健やかな成長のために、保護者が家庭における教育の大切さを学び、孤立することなく安心して子育てができるよう、さまざまな家庭のあり方に応じた多様な形態による学びの機会を提供します。また、保護者同士や、保護者と教員とが互いに支え合って家庭の教育力を高めることができるよう、PTA活動を支援します。



家庭教育ワークシート(全8種類)

施策 6 生涯の学びを支える 図書館の充実

家庭・地域・学校と図書館とが連携して、乳幼児期からそれぞれの年齢に合った読書環境の充実を図ります。また、「区民にやさしい知の拠点」として、高齢者や障害者、外国人等、さまざまな人に一層利用される、魅力ある図書館を実現します。

子ども読書活動の推進

「第五次新宿区子ども読書活動推進計画(令和2年度～令和5年度)」に基づき、「自ら読書を楽しみ、学び、成長する新宿の子どもたち」の育成を図ります。子どもたちがより多くの本に出会い読書習慣を醸成できるよう、新宿区全体で読書環境の整備と子どもの発達段階等にに応じた読書活動の支援を充実させていきます。



施策 7 子どもの安全の推進

防犯、交通安全、防災、情報モラル等の対策を、学校・家庭・地域との連携・協働により取り組みます。子どもが自らの生命を守るために必要な知識や技能を身に付け、生涯にわたって安全な生活を送ることができるよう、子どもの発達段階に応じた安全教育を推進します。また、子どもたちが安心して安全に学び続けることができるよう、学校における新型コロナウイルス感染症対策に取り組みます。

情報モラル教育の推進

社会の情報化が進展する中で、インターネット上でのいじめや誹謗中傷、違法・有害情報、ネット依存などの情報化の持つさまざまな側面を、児童・生徒が正しく理解し、安全に利用できるように、外部専門家による講演会の開催や、児童・生徒が主体的に利用ルールを考える指導など、情報モラル教育を推進します。

時代の変化に対応した、 子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現

施策 ⑧ 一人ひとりの子どもが豊かに学べる教育環境の整備

すべての子どもの成長を支え可能性を伸ばすため、障害のある子どもの特性に応じた支援・指導や日本語を母語としない外国籍等の子どもに向けた支援・指導を行うなど、個に応じたきめ細かな教育を推進します。また、いじめの防止と早期発見・早期対応に積極的に

取り組むとともに、不登校児童・生徒に対しては、多様で適切な教育機会の確保に努めます。

さらに、子どもたちが経済状況等の家庭環境にかかわらず確かな学力や社会性を身に付けることができるよう、子どもの学びと育ちを支援します。

不登校児童・生徒への支援 拡充

不登校児童・生徒に対しては、「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、社会的に自立することを支援する体制の充実を図ります。多様な教育機会の確保に向け、家庭にひきこもりがちな児童・生徒へのICTを活用した学習支援や、つくし教室*に通所を希望しない児童・生徒への訪問型支援等を実施するとともに、フリースクール等との連携を図ります。

*つくし教室…不登校となっている区立小・中学校の児童・生徒に対し、子どもの実態に応じて集団活動や個別学習を行い、自分の進路の実現や社会的な自立を支援する教室

外国籍の子どもへの就学支援 新規

就学状況が把握できていない外国籍の子どもに対して、就学状況アンケート調査を実施します。また、調査の結果、不就学が判明した子どもが学習の機会を持てるよう、就学促進を図っていきます。



特別支援教育の推進 拡充

発達障害等のある児童・生徒への適切な教育的支援を一層強化するために、特別支援教育推進員をさらに増員し、学級内指導体制の充実を図ります。あわせて、リーフレットの配布や説明会の開催等により、保護者、区民等に特別支援教育の意義を発信し、理解啓発に取り組みます。

*アセスメントツール…「読むこと」や「書くこと」に困難さがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりの特性に応じた支援を行うために、苦手な点やつまづきを把握するために実施する、標準化された評価に用いるツール

また、まなびの教室において、児童・生徒の「読むこと」や「書くこと」のつまづきを把握するための「アセスメントツール」*を導入し活用することで、児童・生徒一人ひとりの状態を踏まえた適切な指導・支援を行います。

まなびの教室についてはこちら ▶



施策 ⑨ 学校の教育力の強化

学校現場を取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、教育課題にチームで向き合う体制を整備するとともに、教職員それぞれが力を発揮するための人材育成に取り組めます。

また、学校における働き方改革の推進により教員の長時間勤務を解消し、教員が健康でやりがいを持ちながら質の高い教育活動を継続することで、子どもたちが生涯を切り拓いていく力を一層伸ばしていきます。

施策 ⑩ 学校環境の整備・充実

未来を担う子どもたちが集い、いきいきと学び、生活する場として、新しい教育課題に対応した魅力ある学校環境の整備・充実に努めます。

令和2年度に策定した「新宿区立学校施設個別施設計画」に基づき、施設の長寿命化を基本とした維持保全を行うとともに、公立小学校全学年での35人学級へ向けて、東京都の学級編制基準、通学区域内の未就学児数、将来の児童数の状況等をふまえ、普通教室を適切に整備します。

子どもの「学びたい」をかなえるICT

「新宿区版GIGAスクール構想」では、ICTの活用により、すべての子どもが自己に合った学び方を見つけ力を伸ばすこと、また、国籍や障害、不登校、入院（院内学級等）、家庭の環境等に左右されない学びを実現することを目指しています。

児童・生徒が1人1台のタブレット端末を使える環境を整備するとともに、3つのキーワード「個別最適化学習の推進」、「協働学習の推進」、「学習機会の確保」による取組を通して、子どもの生きる力を伸ばす授業改革を推進し、一層の学校教育の充実を図ります。

Point 1 1人1台のタブレット端末

子どもたちの状況に応じて端末機能を有効に活用することで、一人ひとりの資質や能力を伸ばします。



ICTを活用した授業の様子（令和2年度）

区立学校の児童・生徒に1人1台貸与されるタブレット端末は4G/LTE通信が可能で、学校外でも教育用コンテンツが利用できます。子どもたちが文房具と同じように毎日持ち帰り、家庭学習や放課後学習に活かすことができます。また、タブレット端末の読み上げ機能やルビ振り機能、多言語設定の追加等の端末機能により、読み書きが苦手な児童・生徒や外国籍等の児童・生徒の自己に合った学びをサポートします。さらに、臨時休業等の緊急時には、オンラインによる遠隔授業や、教員との双方向での通信にも活用できます。

Point 2 eラーニングサービスの活用

タブレット端末に搭載されるeラーニングサービスを活用し、「個別最適化学習」や「協働学習」を推進します。

eラーニングサービスには、AIが児童・生徒の学習状況を分析し、個々の課題を抽出する機能があります。この機能を活用し、一人ひとりの理解度に応じた指導につなげる「個別最適化学習」を推進します。また、プレゼンテーション作成機能

を活用し、授業中に意見交換や考えを発表する機会を積極的に設けます。一人ひとりが自分の考えを深め、考えを整理し、筋道を立てて説明する活動を充実し、子ども同士が教え合い学び合う「協働学習」を推進します。

Point 3 多様な場面でのICTの効果的活用

学校の授業だけでなく、様々な場面でICTの利点を活かした効果的な取組を推進します。

□ 不登校児童・生徒への学習支援

タブレット端末による場所を選ばない学びの支援により、不登校児童・生徒が自宅やつくし教室等で行う学習においても、eラーニングサービスを利用することができます。

□ 情報モラル教育の推進

タブレット端末には有害サイトをブロックするフィルタリング等を設定します。また、家庭でも安全に利用できるよう、ネットリテラシーなどを含め、家庭と連携した情報モラル教育を一層推進していきます。

□ 放課後や家庭での学習支援

子どもたちが放課後や家庭での学習に意欲を持って取り組めるよう、タブレット端末の活用により、習熟度に応じた学習や調べ学習を支援し、全ての児童・生徒が主体的に学べる環境を整備します。

□ 教育課題研究校での研究・実践

小・中学校の中から教育課題研究校を指定し、児童・生徒への個に応じた指導や、タブレット端末を活用した学びの充実について研究を進め、全区立学校での実践につなげます。

ご家庭へのメッセージ

新型コロナウイルス感染症対策について

区立学校・幼稚園の保護者の皆さまへのお願い

- 幼児・児童・生徒に発熱や咳・鼻水などの症状がある場合は登校(園)をお控えください。
- 同居するご家族の方に風邪症状があり、医療機関を受診される場合には、お子さまに症状が出ていなくても、登校(園)をお控えください。

※上記の理由により欠席する場合、学校(園)にご連絡いただければ、欠席の扱いにはなりません。ご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しましょう

〈ご自宅での過ごし方について〉

- ① 就寝時間や起床時間を決めて規則正しい生活をしましょう
- ② 適度に体を動かしましょう
- ③ 換気をこまめに行いましょう
- ④ 毎日検温を行い、発熱している場合は診察を受けましょう
- ⑤ 食事の前やトイレの後には手を石けんでよく洗いましょう

〈外出の際の注意点について〉

- ① なるべく外出を控えましょう
- ② 特に体調が悪い時は外出を控えましょう
- ③ 外出するときはマスクをつけましょう
- ④ 帰宅したときは手を石けんでよく洗い、うがいをしましょう



インターネットやタブレット端末の利用について

1 安全にインターネットを利用するために

子どもにスマートフォン・携帯電話を持たせるときは、各ご家庭でルールを決めましょう。

▶ルール例

- 使用時間・使用場所を決めましょう
- SNS上に、自分や他の人の個人情報を書き込まないようにしましょう
- 知らない人からのメール・メッセージは保護者に必ず見せましょう

保護者がルールを決めるのではなく、お子さまと一緒に考え、お子さま自身が納得できる理由を伝えながら、家族みんなでルールを守る意識を持つようにしましょう。



2 学校から貸与されたタブレット端末の利用について

- 児童・生徒に貸与するタブレット端末は、最終学年時に返却していただきます。(転出等の場合も返却となります。)新しい学年に引き継げるよう、大切に扱っていただくようご協力ください。
- 家庭学習等で活用する際は、長時間の利用をしない、休憩をとるなど、ご家庭での確認をお願いします。
- 学校での学習活動に支障がないよう、ご家庭での充電にご協力をお願いします。

問い合わせ先

新宿区教育委員会事務局教育調整課
TEL.03-5273-3074 FAX.03-5273-3510

発行 | 令和3年3月

新宿区教育ビジョンの全文は、区役所1階の区政情報センターや中央図書館、新宿区公式ホームページ(<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>)でご覧になれます。



新宿区教育ビジョンの
詳細はこちら